

## 第12回(2022年度)学会認定・臨床輸血看護師試験の結果

### 学会認定・臨床輸血看護師制度

協議会 会長 大戸 齊  
審議会 会長 牧野 茂義  
試験委員長 梶原 道子

#### (1) 筆記試験

1. 実施日：令和4年11月6日(日)、  
会場：(大阪)ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター
2. 時間、内容：2時間(10:00~12:00)  
多肢選択式問題40題(80点)、記述式問題2題(20点)、計100点満点
3. 受験者数：217名  
(受験申請者223名中、新型コロナウイルス感染拡大によって受けられなかった1名、  
辞退者2名、連絡なし欠席3名を除く)
4. 成績：平均点69.46点、最高点94点、最低点45点、標準偏差9.91点
5. 筆記試験合格者数、合格率：200名、92.2%(200/217)

#### (2) 病院研修

1. 期間、会場：令和5年1月~3月において、1日間  
学会認定・臨床輸血看護士制度協議会の認定施設  
研修生の所属施設
2. 研修者数：205名  
(筆記試験合格者200名に加え、前年度筆記試験に合格したが、病院研修を受け  
なかった5名が研修を受けた)
3. 研修終了者数：205名  
(施設研修を受けた205名において、不合格と判定された者はなかった。)

#### (3) 最終認定者数、認定率：205名、94.5%(205/217)

#### (4) 講評

ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンターを会場として、令和4年11月5日(土)に講習会が、6日(日)に筆記試験が行われた。講習会は5日、13時よりスタートし、6名の講師により途中で約25分の休憩を挟み、19時20分まで行われた。テーマは総論の後、内科、外科・周術期、救命救急、産婦人科、小児科の各領域における輸血療法とした。筆記試験は6日に行われ、講習会参加者217名全員が受験した。結果は上記の如くで、55点以上の200名が合格となった。

病院研修は全国の指定施設で行われた。昨年COVID-19の急速な感染拡大の影響を受け研修ができなかった5名を加えた205名全員が所属研修施設での1日の研修を受けた。評価は、①輸血の意義と目的、②血液製剤の取り扱い、③輸血看護、④輸血副作用、⑤輸血検査、⑥血液製剤の準備・払い出し・管理、⑦症例検討の計7項目について、それぞれ(a)特に優れている、(b)優れている、(c)良い、(d)劣る、の4段階で行われた。各項目(a)との評価が最多であった。各項目で(d)判定となったものはいなかった。総合評価も(a)~(d)の4段階で行われ、病院研修者205名は、(a)114名(55.6%)、(b)80名(39.0%)、(c)11名(5.4%)と判定されたが、(d)は皆無であった。

以上より、病院研修を行った205名の修了が確認され、第12回学会認定・臨床輸血看護師として認定された。